

岡原小だより

あさぎり町立岡原小学校
学校だより NO. 6
令和8年7月3日(金)
文責：校長 田山 一美

【学校教育目標：自ら考え表現できる児童の育成】

伝え合う言葉で、心つなぐ ～人権集会を行いました～

本校では、互いの人権を尊重し、誰もが安心して楽しく過ごせる学校づくりを目指して、様々な取組を行っています。その一環として、6月25日(木)に全校児童が集う「人権集会」を行いました。

集会の冒頭では、学年ごとに、自分たちのクラスで話し合っただけめた人権目標を力強く発表してくれました。どの学年も自分たちの課題を見つめなおした素晴らしい目標ばかりでした。言葉だけに終わらせず、これからの学校生活の中でしっかりと行動に移していけるよう、学校全体で応援してまいります。

続いて、縦割り班で「ふわふわ言葉」と「ちくちく言葉」について話し合いをしました。

○ふわふわ言葉(心を温める言葉)

「ありがとう」「大丈夫だよ」「上手だね」「一緒に遊ぼう」など、言われた人も、言った人も、心がふわふわと温かく、笑顔になる言葉です。

○ちくちく言葉(相手を傷つける言葉)

「ばか」「きもい」「あっち行って」「下手くそ」など、言われた人の心をちくちくと突き刺し、悲しい気持ちにさせる言葉です。

子供たちは、これまでの自分を振り返りながら、班で活発に意見を交わしていました。

集会の終わりには、6年生の本田さんと平山さんが、「ちくちく言葉はひどい。ふわふわ言葉を使っていきたい。」と感想を発表してくれました。

言葉は、時に人を深く傷つける刃にもなれば、人の心を包み込む温かい布団にもなります。「ふわふわ言葉」があふれる、優しさと笑顔いっぱいの岡原小学校をつくっていけるよう、これからも温かく見守り、指導を続けてまいります。



地域全体で育む子供の安全 ～「くろばる会」総会を開催しました～

朝の爽やかな挨拶、雨の日の心配そうな眼差し、そして下校時の「おかえり」の声。子供たちの日常は、日頃から登下校を温かく支えてくださっている地域の見守りボランティアの皆様を守られています。

6月26日(金)に、「くろばる会」の総会及び意見交換会を行いました。子供たちを我が子のように思う温かい励ましとともに、通学路の安全に関する貴重な声をいただきました。学校では、意見交換会でいただいたご意見をもとに、児童に改めて交通安全と感謝の挨拶の指導を行ってまいります。暑い日も寒い日も子供たちの命を守るために立ってくださる皆様の存在は、本校の大きな財産です。

保護者の皆様、地域で子供たちを見守ってくださる方に出会いましたら、ぜひ一言「いつもありがとうございます。」とお声がけいただけますと幸いです。ご家庭でも今一度、登下校の安全についてお子様とお話しいただき、地域・学校・家庭が手を取り合って安全な街づくりを進めてまいりましょう。

